

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【公表番号】特表2016-532447(P2016-532447A)

【公表日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2016-533337(P2016-533337)

【国際特許分類】

A 2 3 J 3/00 (2006.01)

A 2 3 J 3/14 (2006.01)

A 2 3 J 3/26 (2006.01)

【F I】

A 2 3 J 3/00

A 2 3 J 3/14

A 2 3 J 3/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年7月30日(2018.7.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項22

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項22】

前記移行装置は、前記流れを分配するために、概して円錐形状の装置を含む請求項21記載のシステム。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項48

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項48】

前記移行装置は、前記流れを分配するために、概して円錐形状の装置を含む請求項47記載のシステム。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

幾つかの態様において、該システムは、更に、前記押出機と前記ダイの間に移行装置を含み得る。前記移行装置は、流れが前記流路の連続したループ内に実質的に均等に分配されるように設定され得る。幾つかの態様において、前記移行装置は、前記流れを分配するために、概してト円錐形状の装置を含む。幾つかの態様において、前記移行装置は、前記流れを分配するために、流れを2以上の副流に分割するように設定され得る。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

幾つかの態様において、前記流れは、前記移行装置により、前記流路の前記連続したループ内に実質的に均等に分配され得る。幾つかの態様において、前記移行装置は、前記流れを分配するために、概して円錐形状の装置を含み得る。幾つかの態様において、前記移行装置は、前記流れを分配するために、前記流れを2以上の副流に分割し得る。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

幾つかの態様において、タンパク性組成物を含む流れは、押出機から排出された後で且つダイに入れる前に、移行装置500、600を介して方向付けられ得る。移行装置は、タンパク性組成物を含む流れを、連続したループとなる横断面を有する長手方向の流路内に分配するために好適なコンポーネントを含み得る。幾つかの態様において、移行装置は、流れが流路の連続したループ内に実質的に均等に分配されるように設定され得る。例えば、幾つかの態様において、移行装置は、流れを連続したループとなる横断面を有する流路内に分配するために概して円錐形状又は魚雷(torpedo)形状の装置を含み得る。幾つかの態様において、移行装置は、流れを連続したループとなる横断面を有する流路内に分配するために、流れを2以上の副流に分割するように設定され得る。